

※当日の質疑応答の内容を要約して掲載しております。

No.	ご意見・ご質問		回答
	種別	内容	
1-1	ご質問	スクリレで今後の方針について説明がありましたが、これは決定ということになるのでしょうか。	スクリレでの配信内容については決定事項となりますので、それを踏まえた上で、小規模特認校とはどういったものか、学校での教育方針が大きく変わることがないのか等を説明させていただくため、本日説明会を開催させていただきました。
1-2	ご質問	谷田部南小の児童数が減ったことで、小規模特認校として児童数確保に努めることになりましたが、そもそも谷田部南小が今のこの学区になっていることに納得いきません。隣接地に大規模校となっている学校があるのだから、再度学区の線を引き直せば、児童数が確保できるし、大規模校の人数が多すぎるという問題も解消されるのではないのでしょうか。	近隣のみどりの学園義務教育学校、みどりの南小学校ともに一定の規模のある学校になっていますが、みどりの学園義務教育学校が開校する際の学区の設定にあたって、萱丸の土地区画整理事業を一体と捉える形で、一部谷田部南小学校区であったみどりの東が新設校の学区に含まれた経緯があります。また、根崎地区は、当時の区会全員からの要望として、学区変更を行いました。各学校でそれぞれ規模の違いによる課題があることも把握しておりますが、学区として定着しており、今就学している児童や保護者への影響に鑑みると、谷田部南小の学校規模を理由として学区変更をすることは難しい現状にあるということを御理解いただきたいところでございます。そのため、谷田部南小学校につきましては、今まで培った教育を活かし、小規模特認校として教育の中身を充実させていきたいと考えております。
1-3	ご意見	市内の学校を検討した結果、この谷田部南小学校を選んで、他地域から引っ越してきました。私は少人数イエンプランといった教育的なところだけを見てこの学校に就学したので、この地域に前々からお住まいの方が、そういった複雑な気持ちをもっていらっしゃることに驚きました。私と同じように、谷田部南小に魅力を感じて就学できる小規模特認校はとて素晴らしいと思います。その一方で、もともと住んでいる方の気持ちも考慮した上で進めていけるといいのかなと感じました。	
2-1	ご質問	スクリレでの説明の中でも、谷田部南小から学区外申請を出す場合には柔軟に対応すると記載ありましたが、在校生のほとんどが申請した場合でも、申請は通るのでしょうか。	小規模特認校による理由で学区外申請を出された場合には、認める方向で考えております。
2-2	ご質問	学区外申請によって、ほとんどの児童が他の学校に就学してしまった場合は、学校としてどうなるのでしょうか。	もし1人でも残る場合には、学校としては存続することになりますが、そういった場合は地域の皆様のご意見を伺いながら、将来的には統廃合を検討するかたちになっていくと思います。現状としては、今後実施予定の小規模特認校の説明会には多数の応募があり、市内の多くの方から興味をもっていただいておりますので、今後も谷田部南小の魅力をPRするかたちで、児童数の確保に努めてまいります。
2-3	ご質問	学年において女子児童が1名になってしまって、それを理由として学区外就学したケースがあります。それによって、保護者は送迎等の負担が増えていますが、そうなってしまった状況についてどう考えているのでしょうか。	学区外の申請については、各御家庭での判断にお任せしている部分ではありますので、学区外の学校を選択され、教育的な配慮で許可したというのが現在の状況となります。今後は小規模特認校として市内からの児童を募り、児童数増加に努めてまいります。
2-4	ご質問	小規模特認校から違う学校へ学区外申請する際に、自宅から離れた学校への就学を希望することはできますか。	小規模特認校による理由での学区外申請については、近隣の学校への就学が前提となります。自宅から離れた学校への就学を希望する場合には、小規模特認校を理由としての学区外申請ではなく、他の許可基準で審査させていただくことになりますので、その学校でなければいけない理由を申し添えてご申請いただければと思います。
3-1	ご質問	すでに複式学級が始まっていますので、先生方の負担がとて増えているのではないかと思います。そのあたりは、市としてどのように把握されていますか。	学校の先生とは、常に直接やりとりをさせていただいています。その中で困っていることなどを共有いただいております。複式学級では、異なる学年が同じ教室内にいるという環境で、教員が双方を指導するというかたちなので、負担は増えています。そのため市としては教員を加配し、負担軽減に努めています。

No.	ご意見・ご質問		回答
	種別	内容	
3-2	ご質問	他の市町村でも複式の学校があるということなので、メリットやデメリットはどんな部分がありますか。	複式学級の学校は、学校規模が小さく児童数が少ないことで、メリットとしては先生の目が行き届くというところ。その一方でデメリットとして、人数が少ないことで皆さん心配されているのは、社会性を育めないのではないか、集団行動ができないのではないかといったところかと思います。これに対しては、学年間や学園間での交流による学びといった部分に力を入れて、他者との交流を増やし、社会性を育んでいきたいと考えています。
4-1	ご質問	小規模特認校のメリット、デメリットを伺いたいです。	メリットとデメリットは表裏一体とされます。色々な地域から背景が違う子が入ってくるので、気が合う合わないというものはあると思いますが、一方で様々な考えを知る機会というのがもてると思います。物理的な面としては、車の送迎などはデメリットになってくると思います。
4-2	ご意見	児童数減少に対しての解決策というかたちで小規模特認校を市としてご提示されてると思うので、もっと踏み込んで考えていただきたいです。特にデメリットについては、不安に思っているので、予め私たちに周知してもらいたいです。	
4-3	ご意見	子どもは今、小規模で楽しく学校に通っているんですけど、特認校になることで、どういった子がこられるのかわからないのが心配です。指定の就学先なのに、雰囲気が変わって行けなくなったとか、落ち着いて授業を受けられなくなるようなことがないのか、そういう不安がすごくあります。実際、今特認校になってる学校は、人数が増えて外部から来たことでどういう感じになってるのかというのは、すごく保護者としては気になるところなので、もしそういう情報があれば、ぜひホームページへの掲載をお願いしたいと思います。	
4-4	ご質問	今後谷田部南小学校が小規模特認校として推進していく予定のイエナプランですが、望んでいる教育ではないと感じる場合には、学区外申請をして他の学校に就学するしかないのでしょうか。	谷田部南小学校では現在も小規模の中でイエナプランの理念のもとで教育を行っているところですので、教育方針が大きく変わってしまうものではありません。現在の谷田部南小学校の雰囲気を損なわないよう、そこに共感してくださる方に就学していただくというかたちで考えています。
4-5	ご質問	特別支援級の児童が多数就学を希望することで、授業中に落ち着きがなくなったりと、雰囲気が変わってしまうような状況は想定していますか。	当然そういった状況も想定して、他自治体の例を参考に募集要項等を検討しておりますが、方針決定の段階ですので、現段階では詳しくお話しすることが難しい状況です。6月の説明会では、もう少し詳しくご説明させていただくことができるかと思っています。